



2021年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月15日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷太一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 定時株主総会開催予定日 2022年1月27日 配当支払開始予定日 2022年1月28日
 有価証券報告書提出予定日 2022年1月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期の連結業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	19,046	17.2	2,024	40.4	2,214	47.6	1,639	59.6
2020年10月期	16,247	△8.2	1,441	△6.6	1,500	△1.3	1,027	5.0

(注) 包括利益 2021年10月期 1,933百万円 (97.4%) 2020年10月期 979百万円 (5.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	217.37	—	8.3	8.7	10.6
2020年10月期	136.23	—	5.5	6.2	8.9

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 ー百万円 2020年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	26,280	20,595	78.4	2,730.29
2020年10月期	24,651	19,047	77.3	2,524.98

(参考) 自己資本 2021年10月期 20,595百万円 2020年10月期 19,047百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	1,903	△1,307	△384	7,441
2020年10月期	1,434	△922	△305	7,158

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00	301	29.4	1.6
2021年10月期	—	29.00	—	31.00	60.00	452	27.6	2.3
2022年10月期(予想)	—	24.00	—	26.00	50.00		36.6	

3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	0.5	500	△51.3	530	△53.7	350	△58.6	46.40
通期	19,100	0.3	1,460	△27.9	1,520	△31.4	1,030	△37.2	136.54

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）NATOCO VIETNAM COMPANY LIMITED、除外 1社（社名）

（注）詳細は、添付資料P13「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（期中における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P13「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年10月期	8,144,400株	2020年10月期	8,144,400株
-----------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2021年10月期	600,992株	2020年10月期	600,923株
-----------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数

2021年10月期	7,543,418株	2020年10月期	7,543,477株
-----------	------------	-----------	------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績等の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 次期の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(期中における重要な子会社の異動)	13
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の変動	18
(2) その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年11月1日～2021年10月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き不透明な状況であるものの、ワクチン接種の普及などから先進国を中心に経済活動の制限が緩和され、緩やかな回復基調となりました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど、依然として厳しい状況であったものの、ワクチン接種の促進や海外経済の回復基調を受けて輸出や生産は持ち直しの動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループは絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品の開発を行うとともに、お客様の満足度を第一とし、品質と機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は19,046百万円(前年同期比17.2%増)、営業利益2,024百万円(前年同期比40.4%増)、経常利益2,214百万円(前年同期比47.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,639百万円(前年同期比59.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 塗料事業

金属用塗料分野では、工作機械、農業機械、物流機器向け塗料の出荷が増えたことや中国での販売が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。建材用塗料分野では、主力外装建材ユーザーの高耐久商材への採用、内装建材において抗ウイルス塗料の採用が増えたことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。また、その他の分野では、塗装設備の販売により、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。セグメント利益は売上高の増加により前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、塗料事業における当連結会計年度の売上高は11,810百万円(前年同期比22.8%増)、セグメント利益は1,374百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

② ファインケミカル事業

物流、食品関連のラベル印字材料(情報記録材料)向けのコーティング剤が堅調に推移したことや、PCやタブレット等の情報家電(電子材料)向けのコーティング剤の需要が旺盛だったことで、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当連結会計年度の売上高は3,049百万円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益は926百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

③ シンナー事業

既存ユーザーのコロナ禍の生産調整からの回復傾向で出荷量が増加したことから新規ユーザーの獲得により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。セグメント利益は、売上構成の見直しや2019年台風19号の浸水被害により工場が1ヶ月半生産停止となった有限会社アイシー産業の回復により前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当連結会計年度の売上高は4,186百万円(前年同期比7.8%増)、セグメント利益は360百万円(前年同期比17.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は18,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ845百万円増加いたしました。これは主に、前渡金が456百万円減少したものの、現金及び預金が199百万円、受取手形及び売掛金が327百万円、電子記録債権が373百万円、商品及び製品が100百万円、原材料及び貯蔵品が238百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ783百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具(純額)が163百万円、建設仮勘定が461百万円、無形固定資産が153百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は26,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,629百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。これは主に未払金が298百万円、その他流動負債が436百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が588百万円、未払法人税等が185百万円増加したことによるものであります。固定負債は701百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が22百万円増加したものの、退職給付に係る負債が52百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の合計は20,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,548百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を1,639百万円計上した一方で、配当金の支払384百万円があったこと、為替換算調整勘定が240百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4%（前連結会計年度末は77.3%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より282百万円増加し、当連結会計年度末には7,441百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,903百万円（前年同期は1,434百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,192百万円、減価償却費555百万円、仕入債務の増加625百万円による資金の増加と売上債権の増加648百万円、たな卸資産の増加297百万円、法人税等の支払442百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,307百万円（前年同期は922百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の償還、信託受益権の償還による収入9,800百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出1,244百万円、無形固定資産の取得による支出173百万円、有価証券及び信託受益権の取得による支出9,800百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、384百万円（前年同期は305百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払384百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期
自己資本比率 (%)	77.1	77.5	76.8	77.3	78.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	46.0	37.2	40.8	31.1	47.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	11.4	11.7	8.1	11.2	8.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	10,418	89,709	123,936	477,270	600,145

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 次期の見通し

感染症の影響や原材料高騰などによる世界経済の不確実性が高まる中、地球温暖化などを世界的に解決しようとするSDGsへの取り組みが重要視されています。一方でIoT、AI、環境技術の様々な分野への活用など、将来の産業発展に向けた動きが加速しています。例えばカーボンニュートラルを目指し、自動車においては電動化や燃費向上のため軽量化素材の活用などの動きが活発化する中、これら素材に適合する塗料・コーティング材の提供など、時代の要請にも対応する必要があります。

このような状況のもと、当社は、「ユニークな発想で新しい価値を創造する」ことを基本理念に、絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品を開発し、これを事業基盤としてグローバル展開を目指しています。事業活動にあたっては、社会全体をより良くすることを第一に、環境、品質、機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することによりお客様の満足度を高め、事業収益、経営効率の向上を図ってまいります。

次期の業績見通しは、塗装設備の販売分が減少するものの他の製品の販売が増加し、売上高19,100百万円（当連結会計年度比0.3%増）を見込んでおります。一方、利益面につきましては、ナフサ価格の高騰や原料の供給不足による原材料価格の高値水準が継続する見込みであることから、営業利益1,460百万円（当連結会計年度比27.9%減）、経常利益1,520百万円（当連結会計年度比31.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,030百万円（当連結会計年度比37.2%減）を見込んでおります。

また、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1CNY=17.0円、1USD=110円を想定しております。（2021.10.31時は、1CNY=16.68円、1USD=108.28円）

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,633,092	7,832,874
受取手形及び売掛金	5,324,337	5,651,375
電子記録債権	421,745	794,853
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,033,147	1,134,081
仕掛品	28,195	35,619
原材料及び貯蔵品	518,973	757,487
前渡金	468,093	11,355
信託受益権	800,000	800,000
その他	78,052	134,347
貸倒引当金	△5,327	△6,058
流動資産合計	17,500,312	18,345,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,651,947	2,576,919
機械装置及び運搬具（純額）	1,034,141	1,197,916
土地	1,743,380	1,743,380
建設仮勘定	683,913	1,144,929
その他（純額）	234,071	229,901
有形固定資産合計	6,347,453	6,893,046
無形固定資産	167,066	320,617
投資その他の資産		
投資有価証券	412,037	446,191
繰延税金資産	77,819	116,129
その他	153,923	162,651
貸倒引当金	△7,368	△3,777
投資その他の資産合計	636,412	721,194
固定資産合計	7,150,932	7,934,858
資産合計	24,651,244	26,280,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,714,454	3,302,766
電子記録債務	28,273	68,365
未払金	841,120	542,769
未払法人税等	207,821	393,308
賞与引当金	256,501	273,584
役員賞与引当金	33,900	42,300
その他	796,543	360,020
流動負債合計	4,878,614	4,983,114
固定負債		
繰延税金負債	6,193	6,987
役員退職慰労引当金	343,824	366,647
退職給付に係る負債	153,738	101,483
その他	221,749	226,860
固定負債合計	725,505	701,978
負債合計	5,604,120	5,685,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	14,094,722	15,349,734
自己株式	△516,255	△516,339
株主資本合計	18,521,344	19,776,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,549	168,342
為替換算調整勘定	397,539	637,620
退職給付に係る調整累計額	△20,309	13,463
その他の包括利益累計額合計	525,780	819,426
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,047,124	20,595,700
負債純資産合計	24,651,244	26,280,794

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	16,247,002	19,046,506
売上原価	12,028,267	14,009,177
売上総利益	4,218,734	5,037,329
販売費及び一般管理費	2,777,437	3,013,154
営業利益	1,441,297	2,024,174
営業外収益		
受取利息	5,256	4,048
受取配当金	12,963	13,143
受取ロイヤリティー	10,000	5,000
物品売却益	14,222	32,850
為替差益	2,150	134,208
その他	26,165	13,876
営業外収益合計	70,758	203,127
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	10,320	10,470
その他	1,391	1,923
営業外費用合計	11,714	12,396
経常利益	1,500,341	2,214,905
特別利益		
固定資産売却益	209	1,834
補助金収入	19,144	16,713
受取保険金	6,807	—
特別利益合計	26,160	18,547
特別損失		
固定資産処分損	11,892	31,280
固定資産圧縮損	23,154	9,333
ゴルフ会員権評価損	21,405	—
災害による損失	12,035	—
特別損失合計	68,487	40,613
税金等調整前当期純利益	1,458,014	2,192,839
法人税、住民税及び事業税	431,144	618,141
法人税等調整額	△806	△65,029
法人税等合計	430,337	553,111
当期純利益	1,027,677	1,639,727
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,027,677	1,639,727

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
当期純利益	1,027,677	1,639,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,488	19,792
為替換算調整勘定	△8,189	240,081
退職給付に係る調整額	△9,349	33,772
その他の包括利益合計	△48,027	293,646
包括利益	979,649	1,933,374
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	979,649	1,933,374
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	13,368,783	△516,255	17,795,406
当期変動額					
剰余金の配当			△301,739		△301,739
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,027,677		1,027,677
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	725,938	—	725,938
当期末残高	1,626,340	3,316,538	14,094,722	△516,255	18,521,344

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	179,038	405,728	△10,959	573,807	—	18,369,214
当期変動額						
剰余金の配当						△301,739
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,027,677
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△30,488	△8,189	△9,349	△48,027	—	△48,027
当期変動額合計	△30,488	△8,189	△9,349	△48,027	—	677,910
当期末残高	148,549	397,539	△20,309	525,780	—	19,047,124

当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,626,340	3,316,538	14,094,722	△516,255	18,521,344
当期変動額					
剰余金の配当			△384,715		△384,715
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,639,727		1,639,727
自己株式の取得				△83	△83
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,255,012	△83	1,254,929
当期末残高	1,626,340	3,316,538	15,349,734	△516,339	19,776,273

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	148,549	397,539	△20,309	525,780	—	19,047,124
当期変動額						
剰余金の配当						△384,715
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,639,727
自己株式の取得						△83
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	19,792	240,081	33,772	293,646	—	293,646
当期変動額合計	19,792	240,081	33,772	293,646	—	1,548,575
当期末残高	168,342	637,620	13,463	819,426	—	20,595,700

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,458,014	2,192,839
減価償却費	606,602	555,702
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,680	△2,858
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,247	△46,276
受取利息及び受取配当金	△18,219	△17,191
支払利息	3	3
固定資産処分損益 (△は益)	11,746	31,280
固定資産売却損益 (△は益)	△62	△1,834
固定資産圧縮損	23,154	9,333
災害による損失	12,035	—
ゴルフ会員権評価損	21,405	—
為替差損益 (△は益)	8,973	△100,988
売上債権の増減額 (△は増加)	33,433	△648,566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	113,679	△297,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	△347,255	625,291
補助金収入	△19,144	△16,713
受取保険金	△6,807	—
災害による損失の支払額	△10,005	—
その他	70,928	33,245
小計	1,969,408	2,315,986
利息及び配当金の受取額	18,657	17,329
利息の支払額	△0	△3
法人税等の還付額	23	12,490
法人税等の支払額	△553,414	△442,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,434,674	1,903,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△212,600	△352,300
定期預金の払戻による収入	276,600	440,100
有価証券の取得による支出	△5,800,000	△5,800,000
有価証券の償還による収入	5,800,000	5,800,000
信託受益権の取得による支出	△4,000,000	△4,000,000
信託受益権の償還による収入	4,000,254	4,000,265
有形固定資産の取得による支出	△968,365	△1,244,966
有形固定資産の売却による収入	1,250	6,864
無形固定資産の取得による支出	△39,963	△173,446
投資有価証券の取得による支出	△2,214	△2,286
差入保証金の差入による支出	△1,284	△1,229
差入保証金の回収による収入	365	702
補助金の受取額	19,144	16,713
保険金の受取額	6,807	—
その他	△2,198	1,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922,204	△1,307,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△305,536	△384,500
自己株式の取得による支出	—	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305,536	△384,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,649	71,593
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188,282	282,682
現金及び現金同等物の期首残高	6,970,209	7,158,492
現金及び現金同等物の期末残高	7,158,492	7,441,174

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(期中における重要な子会社の異動)

第3四半期連結累計期間において、NATOCO VIETNAM COMPANY LIMITEDを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、NATOCO VIETNAM COMPANY LIMITEDは特定子会社に該当しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、主に定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

この変更は、当社における群馬粉体塗料生産工場の増設等を契機に、有形固定資産の使用状況を検証した結果、生産高、稼働率等が今後も長期安定的に推移することが見込まれることから、定額法により耐用年数の期間にわたって均等に費用配分することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この結果、従来の方によった場合と比較し、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ96,374千円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響については、依然として収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、当社グループの事業に関する需要動向への影響は限定的であると捉えております。

このような前提を基礎として、固定資産の減損の判定や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルスの感染症の影響については不確定要素が多いため、今後の経過によっては当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業活動を展開しており、「塗料事業」、「ファインケミカル事業」及び「シンナー事業」の3つを報告セグメントとしております。

「塗料事業」は、合成樹脂塗料等の製造販売を行っております。「ファインケミカル事業」は、高機能性樹脂・樹脂素材用コート剤等の製造販売を行っております。「シンナー事業」は、純品シンナー・リサイクルシンナーの製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較し、当連結会計年度のセグメント利益が、塗料事業で46,466千円、ファインケミカル事業で7,317千円、シンナー事業で36,447千円増加しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が6,142千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,614,117	2,749,268	3,883,615	16,247,002	—	16,247,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,059	—	229,436	242,495	△242,495	—
計	9,627,176	2,749,268	4,113,052	16,489,498	△242,495	16,247,002
セグメント利益	1,033,833	706,337	305,832	2,046,003	△604,706	1,441,297
セグメント資産	9,754,628	2,664,359	3,478,457	15,897,444	8,753,800	24,651,244
その他の項目						
減価償却費	311,194	67,405	172,211	550,811	55,791	606,602
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	782,813	65,370	286,413	1,134,597	44,686	1,179,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△604,706千円は、セグメント間取引消去24,313千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629,019千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1, 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	塗料事業	ファインケミ カル事業	シンナー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,810,848	3,049,403	4,186,255	19,046,506	—	19,046,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,990	—	283,314	299,304	△299,304	—
計	11,826,839	3,049,403	4,469,569	19,345,811	△299,304	19,046,506
セグメント利益	1,374,112	926,610	360,302	2,661,025	△636,850	2,024,174
セグメント資産	11,192,580	2,354,739	3,578,688	17,126,008	9,154,785	26,280,794
その他の項目						
減価償却費	285,757	50,218	167,220	503,196	52,506	555,702
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	693,757	24,320	202,518	920,596	113,588	1,034,184

- (注) 1. セグメント利益の調整額△636,850千円は、セグメント間取引消去24,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△661,210千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額、その他の項目の減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
13,554,428	2,469,413	223,160	16,247,002

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他アジア	合計
5,217,375	1,094,220	35,857	6,347,453

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	3,503,165	塗料事業・シンナー事業

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
15,127,649	3,051,566	867,291	19,046,506

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	その他アジア	合計
5,683,618	1,142,383	67,044	6,893,046

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ニチハ株式会社	4,470,804	塗料事業・シンナー事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)		当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	
1株当たり純資産額	2,524円98銭	1株当たり純資産額	2,730円29銭
1株当たり当期純利益金額	136円23銭	1株当たり当期純利益金額	217円37銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	19,047,124	20,595,700
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	19,047,124	20,595,700
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,543,477	7,543,408

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,027,677	1,639,727
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,027,677	1,639,727
期中平均株式数(株)	7,543,477	7,543,418

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・昇任取締役候補

専務取締役 山本 豊 (現 常務取締役)

常務取締役 粕谷 英史 (現 取締役 購買部長・海外事業部長)

・新任取締役候補

社外取締役 林 克行 (現 当社社外監査役)

・新任監査役候補

社外監査役 内藤 正明 (現 弁護士)

・退任予定取締役

取締役 粕谷 忠晴 (当社相談役 就任予定)

③ 異動予定日

2022年1月27日

(2) その他

販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	前年同期比 (%)
塗料事業 (千円)	11,810,848	22.8
金属用塗料 (千円)	5,087,730	10.0
建材用塗料 (千円)	5,967,725	24.6
その他 (千円)	755,392	278.2
ファインケミカル事業 (千円)	3,049,403	10.9
シンナー事業 (千円)	4,186,255	7.8
合計 (千円)	19,046,506	17.2

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。